

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土・日
内科	7番 (一般内科・神経内科)	鎌田	西山	福徳	石川	金井
	8番 (一般内科・呼吸器)	白井	早川	永福(建)	早川	白井
	11番 (一般内科・糖尿病)	林	金井	永福(未)		栗山
	12番 (一般内科・呼吸器)	藤田				三輪
	13番				(循環器) 受付8:30~11:00	
初診	金井・赤松・福徳	赤松・三輪・石川・鎌田	藤田・福徳・石川	白井・西山	永福(未)・藤田	
小児科	(小児一般) 伊熊	(小児一般) 豊田	(小児一般) 鈴木	(小児一般) 豊田	(小児一般) 鈴木	
泌尿器科 (一般泌尿器・腎不全) 再診のみ			受付12:30~16:00 再診のみ 杉山			
児童精神科 初診・再診とも 「完全予約制」です。	1 (51番)	山村	山村	山村		
	2 (52番)		高貝			
	3 (53番)	内山			内山	内山
	4 (55番)			杉山		
眼科 第1-3水曜日のみ			受付13:30~16:30 田邊			
皮膚科 毎週水曜日のみ			受付8:30~11:00 池谷			

*児童精神科:初診・再診とも「完全予約制」です。
*当院は、よりよい医療を患者様に提供できるようにと、病診連携を通じて近隣の開業医の先生方とよく連絡を取り合い診療を行っています。

各種相談担当医一覧表

相談区分	実施日	相談内容	担当者
禁煙外来	毎週木曜日 (午後)予約制	・禁煙希望患者様に対し、禁煙までの診療指導。 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
もの忘れ外来	毎週月曜日 (午後)予約制 (初診のみ)	・認知症の早期診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	第一診療部長 石川邦子 神経内科医員 鎌田 皇 神経内科医師 西山治子
小児心臓外来	毎週月曜日 予約制	・心疾患の相談や検査、治療。 ・学校心臓検診など。	療育指導科長 伊熊正光
小児生活習慣病外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・小児肥満、糖尿病、高血圧の相談や検査、治療。 (最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
小児心身症外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・慢性的な頭痛や腹痛、夜尿症など、慢性疾患や長期間持続する 症状の相談や検査、治療。(最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
乳児健診	月、木(午前中)	・乳児健診(静岡県母子保健事業にかかる) 4ヶ月、10ヶ月健診。	療育指導科長 伊熊正光
予防接種	毎週月曜日 (午前)予約制	・三種混合、麻しん、風しんなどの定期予防接種の実施。	療育指導科長 伊熊正光
医療相談	月~金曜日	・医療費の支払、各種健康保険の手続き、障害者申請の方法。 ・療養や社会復帰の際の心配ごと等の相談。	医療社会事業専門員 元場由利子
栄養相談	月~金曜日	・食事療法の具体的な方法、生活習慣病予防のための食事の献立。 ・食物の栄養やカロリー等の説明や相談。	管理栄養士 小馬瀬明義、渡邊夏奈子 武居真里絵、濱野 正和

*希望される方は、医事係受付までお問い合わせ下さい。(平日の8時30分から17時15分まで)

予約検査一覧 ①消化器内視鏡・胃透視・注腸造影 ②気管支鏡 *検査は受診のうえ、予約が必要です。

今回のかがやきでは、院長のご挨拶・外来糖尿病教室・市民公開講座・天竜産業観光まつりとともに電子カルテの導入が掲載されています。多くの病院で電子カルテは導入されていますが、当院の特徴にあった電子カルテになるように現在日々努力しています。導入当初は不慣れでご迷惑をかけることがあるかもしれませんがご協力よろしくお願い致します。



国立病院機構 天竜病院

浜松市浜北区於呂4201-2 TEL(053)583-3111(代) FAX(053)583-3664



かがやき

vol.57
2014.1月発行

http://www.hosp.go.jp/tenryuu

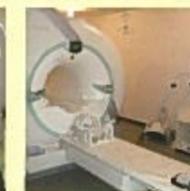
「七つのまちがい探し」

※解答は中面をご覧ください。



医療機器の共同利用を行っています

当院では地域医療機関の先生方の診療に役立てるようCT・MRI・骨密度測定装置の共同利用を行っています。予約制で当日に検査を行うことも可能です。お問い合わせは地域連携室へご連絡下さい。



CT(東芝製) MRI(シーメンス製) 骨密度測定装置(ホロジック製)

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。この新年の原稿を書くように言われるたびに二年が経つのはホントにはやいものだとしみじみ感じます。昔、私が30歳代を終えようとする時に、「30歳代は、あつという間にすぎたなあ」とぼやいていたところ、通りかかった当時の上司に、「なに、40代はもっと早いよ」と返され、実際その通りだったことを思い出します。見返してみますと、「30年ばかり私が書いてきた「かがやき」の「新年のごあいさつ」の内容は、新棟の建て替えを含めた病院の整備への思いばかりでした。おかげでこれまで、大地震に対しては着々と準備が進められており、昨年は、ライフライン(水、電気、ガス、通信など)がとも充実しました。特に水の確保は非常に大事で、元々の井戸水に加えて、耐震性の高い市の上水道も引き入れました。非常用電源もパワーアップしました。昨年は存外、静かな日々が過ぎていましたが、師走に入ったとたん、急に懸案だった外来棟の建て替えの話が持ち上がり、あたふたと準備にとりかかっている次第です。今年も「一気」に病院整備の最終段階を駆け抜けたいですね。しかし、建物以上に大事なのが中身であるということは、スタッフ一同よく認識しているところです。より良い医療を目指して切磋琢磨してまいりますので、今年も何卒よろしくお願致します。最後にお願ひです。3月1日から電子カルテが導入されます。現在、スタッフは懸命に勉強中なのですが、3月から少しの間はいろいろモタモタする場面があるのではないかと心配しています。しばらくの間は、大目に見て頂ければ幸いです。どうぞ皆様、よい一年をお過ごし下さい。



国立病院機構天竜病院
院長 早川 啓史

